

家族進学マネー会議 ワークシート

家族でマネー会議を始めるとき、このワークシートに書き込みながら進めてみましょう。
お金のことが「見える化」され、プランを立てやすくなります。

STEP 3. 家計の現状を洗い出す

家計から支出できるお金を見積もります。兄弟の有無や家計の状況などによって大きく変わるので、最低限これだけは出せるという金額を設定しましょう。なお、**初年度納付金など、入学の前に必要な費用に奨学金は使えない**ので注意を。

項目	内容	金額(万円)
貯蓄から支出できる金額	万円 × 48か月(4年間)	
給与から支出できる金額	月平均 万円 × 48か月(4年間)	
学資保険		
その他		

祖父母、親族からの援助などがあれば記入しておきましょう。

合計(②) _____ 万円

STEP 4. 希望を実現する方法を探る

足りない金額を算出し、それを補うための方法と金額を調べます。給付型奨学金は家計状況や学業成績などに所定の採用条件があるので、安易に見積もるのはお勧めできません。また、アルバイトは学業がおろそかにならない程度にとどめましょう。

差額(①-②) _____ 万円

項目	内容	金額(万円)
教育ローン(保護者)		
日本学生支援機構奨学金(本人)	月額 万円 × 48か月(4年間) <small>月額5万円×48か月(4年間)の場合(返還額3%)：月1万6769円×180回(15年) 返還額は日本学生支援機構のWebサイトでシミュレーションを!</small>	
アルバイト(本人)	月平均 万円 × 48か月(4年間)	
その他		



memo

「保護者版」の「経済支援が充実している大学特集」で大学の支援制度を調べられます。

このページのワークシートと、タイプ別の記入例(国公立大学、私立大学の自宅/下宿)をコチラからダウンロードできます。



STEP 1. 希望進路の確認

まずは、子どもの希望進路を確認します。特に費用のプランニングの基になる以下の項目について、じっくりとヒアリングを。希望がはっきりしない場合は、保護者の思いやアドバイスも交えながら、理想の進路を一緒に探っていきましょう。

- 大学に行きたい理由 _____
- 第1志望校 国立 公立 私立 _____ 大学 _____ 学部
- 併願校 () 校 • 希望する選抜方式 一般 学校推薦型 総合型
- 通学 自宅 地域外(一人暮らし) 地域外(寮)
- 留学 しない 短期(～3か月) 中期(3か月～1年) 長期(1年～)

STEP 2. かかる費用を調べる

受験から大学卒業までにかかる費用を、各大学のWebサイトや、「保護者版」を参考に書き込んでいきます。志望校によって金額に差がある場合は、高いほうで見積もっておきましょう。

項目	内容	金額(万円)
受験期	塾・通信講座などの受講費用	
	オープンキャンパス参加費用	交通費・宿泊費
	大学入学共通テスト検定料	教科 ※2教科以下1.2万円、3教科以上1.8万円
	国公立大学個別入試検定料	万円 × 校 ※1校当たり1.7万円
	私立大学検定料	万円 × 校 ※目安は1校当たり3.5万円
	共通テスト利用入試	万円 × 校 ※目安は1校当たり1.5万円
	受験時の交通費・宿泊費	
合格～入学まで	初年度納付金* (入学手続き時納付額)	入学金、1年次前期授業料、施設・設備費
	併願校の初年度納付金* (入学手続き時納付額)	
	入学時の費用	教科書・教材費、住まい探しの費用、入居時の費用、家具・家電購入費
卒業まで	学費	1年次後期分
		2年次以降 万円 × 年
	生活費	万円 × 48か月(4年間)
	留学費用	
	その他	運転免許取得費用、旅行費用、就活費用など

*初年度納付金の内訳は大学によって異なりますので、必ず確認しましょう。

合計(①) _____ 万円

うち、受験期から入学までに必要な金額 _____ 万円